

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

慶應義塾高校が107年ぶりの甲子園優勝



夏の全国高校野球甲子園大会で慶應義塾高等学校が107年ぶりに優勝しました。107年ぶりという歴史ある大会の重みとともに、「丸刈りではない」「監督と言わず、さんづけで呼ぶ」など野球以外の面で従来の高校野球のイメージにはない活動ぶりが話題になっています。賛否はどうあれ「昔と変わらないこと」に価値を見出す者、こだわらない者同士はいつの時代にも意見がぶつかります。

それにしても、昨今の高校球児の鍛えこまれた肉体を見るにつけ、確実に10年、20年、30年前の高校野球より着実にレベルアップしていると感じます。世代優位の意識も手伝い、自分が高校生だった時代の選手が肉体・技量とも最高であると思いたい意識を捨て去ることができないのですが、今ではその差を認めざるを得ません。

投手の投げる球速、打者の打球の飛距離ともプロ選手並みの計測値を出す選手が珍しくありません。どれほどストイックに日々のトレーニング取り組んでいるのか想像すらできません。

どんなスポーツ競技であれ、毎年のように高校記録、日本記録や世界記録が更新されます。だからといって過去のアスリートの競技レベルを卑下するのは間違いでしょう。人類のスポーツ競技における進化の過程に軌跡を残した偉大な功績が色あせることは決してないはずで



当社では毎年、多くの新卒高卒生を正社員採用しております。過去の採用実績表を同封しました。新卒採用14年目を迎えOB・OGが多数活躍する会社です。これからも東葉警備保障株式会社をどうぞよろしく願い申し上げます。

松本 隆一郎